

庁議の概要

開催日 平成 29 年 5 月 8 日（月）

◎項 目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内 容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 中央圏域における広域避難に関する協定締結式について

(危機管理部)

5月9日に高知市と県内13市町村の間で、高知市からの避難者受入れに関する協定が結ばれる。高知市から県内13市町村への多くの避難者の受入対応について、一定の道筋が作れるのではないかと思う。

○ 集落活動センターの取り組みの推進について

(中山間振興・交通部)

集落活動センターの新たな掘り起こしについて、今年度前半に3つの手段で集中的に啓発を行う。

一点目はテレビである。これまでは集落活動センターの活動を広報してきたが、5月21日（日）に放送予定の『おはようこうち』で、中山間振興・交通部の副部長から集落活動センターに取り組む意義や効果などについてPRを行う。

二点目は紙媒体でのPRである。集落活動センターは女性の活躍が大きなウエイトを占めている。そこで、女性の活躍を掲載している高知新聞の折り込みフリーペーパー『K+』紙上で『高知で暮らす女性たちの応援誌』と題し、毎月1回、7月から6ヶ月（6回程度）、集落活動センターの活動についてPRを行う。

三点目は、6月11日と7月11日に集落活動センターにスポットをあてたフォーラムの開催を予定している。

○ 知事からの話

ゴールデンウィーク期間中、観光面での成果が上がったと思う。すでに様々な取り組みが始まっていると思うが、各種シンポジウム、会議、総会などでは、どういう施策意図で仕事をしようとしているのかを関係者にわかりやすく伝え、官民協働の体制が構築できるよう心がけていただきたい。

5月は、一般の方に向けたシンポジウムや総会などの機会が多い。ここで、しっかりと理解を得て、官民協働の体制を構築できれば、年間を通して良い仕事ができると思う。

幹部職員は、自分の言葉で政策意図を伝えるよう、心がけてほしい。

年度初めは、内部的な会議も多いが、最初にしっかりと意識合わせを行うことが大事である。年度途中になって、「違っていた」とならないよう、年度当初にしっかりと意識合わせを行ってほしい。